

大野市報

本年度当初予算およびその他の重要議案を審議する第十九回定例市議会が三月十一日午前十時から下庄出張所で開かれた。森嶋議長が開会を宣言、川崎総務委員長が議事日程を報告これを決め一人休憩（この間に池田助役は当初予算案を説明）午後一時五十分再会、齋藤市長から約五十分におたり本年度の施政方針演説があつた。ついで報告第一号を承認し二十七議案を上程、午後三時閉議いらい同二十六日までの期間、各議案について慎重審議された。この間、各議員からは愛市的な観

学校中小企業 農林業振興 道路

消費的経費を節減し 建設面の計画を充実

第19回 定例市会

点より建設的で活発な質問があり同じく理事者側からも懇切な説明があつて本年度予算案を含む三十七議案を原案通り可決確定した。なおこの当初予算の特色としては市長の施政方針にもあり、ことしは齋藤施政総仕上げの年度でもあり学校、中小企業の育成発達、商店舗の新装資金の融資、農林業の振興、道路、橋りょうなどの四重点施策とさらに旧大野町の国保の再開、全市の国保統一などに重点が置かれていることが伺われる。



齋藤市長

施政方針演説要旨

初代の大野市長としてその榮譽をにない、はや任期も半ばを過ぎたが市民ならびに議会、各種団体の御協力と援助によつて他の合併新市町村に

類を見ないほど市政全般が円満かつ健全な運営と発展がなされてきた。これは全市民とともに喜びまた祝福したいところである。しかし今後の市にかけられた使命は実に大きく、さらに多端を予想されるので今後とも一段と全市民の御支援と御理解を得るならばより一層老骨にむちうち献身大野市の建設に当り市民福祉の増進と市民文化の向上さらに市民所得の増加に尽したい

飛躍的發展の約束ができた

越美北線の早期開通と六十数億円を費しこの四月から着工することになった電力資源の開発であるが、越美北線の第二次予算に当る本年度は約五億余円が確実視され、なお

五カ年建設計画 65パーセント進む

同線は昭和三十四年には開通の明るい見通しもついた。打波、富田、壁倉の各発電所誘致に当つては関係地区民の御理解と市議会や各関係者の協力によつて用地問題も短期間

に解決でき明年七月には発電開始の運びとなつたことも今後の市財政を潤しさらに大工業地としての伸張の要素を持つことにもなつた。これが第二次産業、第三次産業への前提ともなり市内の潜在失業者も完全就業ができればさらに農業振興と併立して工業都市的な方向へも市の総合発展が見込まれ、福井市につく活況のある大都市を描くことも夢物語ではない。

わち合併年度の赤字三千八百万円をなくするために自主再建計画を立てつつさらに合併後、積極的に建設事業を行い投資的経費に相当額を費したため公債費のほうも張もやむを得なかつた。これが本年度の予算編成に大きく影響し、歳入を最大限に見積つてもなお意のままに積極的な施政が取りいられなかつたことは誠に残念である。しかしこの中からも四万五千市民が真に明るい希望を持ち、市政に協力



(写真は定例市議会議場全景)

してもらうために新たに新市建設五カ年計画を立てることになつた。これは合併後三年間に、合併当時の建設五カ年計画に基づいてこの事業目的を忠実に履行した結果、事業の総額は実に四億五千七百余万円での目的の六五パーセントの進捗よく率である。この成績が中央や県に認められ、県下多数の合併新市町村の中からモデルケースの五市町村の中に当市が含まれ、新市町村促進優良市として前年度で指定を受け、新しく新五カ年計画を立てることになつたわけで重ねて一段の御協力をお願いしたい。

赤字の解消は 35年度までに

合併当時の赤字三千八百余万円は昭和三十年、同三十二年中に消費的経費の節減を図り、繰越剰余金や自主再建に基づいて本年度から四カ年度中には解消する見通しも明るくなつた。なお昭和三十四年度以降は電力施設などの大口固定資産税の増額も予想されるのでいま当分の間、自主財政を確立するために市財政の耐乏を覚悟していただくよう全市民も理解を深めてほしい。

体でも総会がある。その議事の中でみんなが一番関心をもつているのは役員改選である前もつて一応下馬評があつても、やはり当日になつて自分の眼で確かめないことにはどうも腹に落ちないのが人情だ。▼婦人団体とか青年会では問題はないが何々委員会とか何々審議会とか呼ばれるような男女混成の組織では、殆んど男が委員長とか会長を男子がやり副を女子がやるという事を慣例にしているが、これはどうもフに落ちない。もし規約が決まっているのなら仕方ないがそういう決りがないのなら、十分に考えてもらいたい問題である。▼婦人の中で本当に発言力があり実行力のある人ならいざしらず、ただ席に列しているという程度のことなら何も「副」という大役をもつてもらう必要はないから。男子の中から本当に実力のある人を「副」にすればよい。アクセサリー的な意味やたんなる思いつきの女性尊重で選任するとなれば、女性を侮辱するものではない。▼こういう何でもよいことに案外社会の矛盾がひそんでい



毎年春 風見鶏 になるとこの団体

(紙面の都合により二面に 続く)

るものである。婦人団体も本當の男女同権を確立したいのならこういふ女性軽視の風潮を一日も早くなくしてしまふように努力すべきではないか

総額三一、八四四万余円

一般会計 二四、一九七万余円

特別会計 七、六四七万余円

昭和32年度解算

昭和三十二年

三月議会で決定した昭和三十二年当初予算をグラフに表わして昨年度予算と比較し、新予算の特色をおおまかに説明してみよう。

(歳出)

△議会費 前年度より百八万一千八百九十円の増、これは法の改正に伴い期末手当の支給および議員報酬が増額されたからである。

△市役所費 一般会計面から職員十名を国保再開のための新規採用の分に充当し新規採用を取りやめ、なお需用費を大幅に節減している。

△警察消防費 可搬式ポンプ五台を購入し各地区へ配備するほか消火栓、貯水槽の設置などのために増額。

△土木費 本年度では局部的な部落内の市道を重点的に改修、さらに道路、河川の維持修繕費の増加がある。

△教育費 小・中学校の消耗品費を大幅に増額、学校敷地などの地代を増額、学童生徒の見学旅行の補助を増額。

△社会および労働施設費 季節保育所三十カ所、被保護者の減少から総額で減となった。

△保険衛生費 市街地の清掃化を図るためにごみ収集トラックを一台購入、ごみ集めのスピード化を図る。

△産業経済費 中小企業の育成発達と観光事業、部落電話の架設に重点が置かれ、なお商店舗の改装資金の貸付け中央公園の整備、家畜振興費の増額、開拓地の補助増額。

△繰入金 国保の再開、七地区国保などに五百三十万余円を繰りだした。

△市税 三十年度の徴収額と三十一年度の調定実績により見積られたものである

△目的税 都市計画を積極的に実施するために新たに新設したもの。

△地方交付税 交付税率の改正による増加。

△財産徴収代金 小中学校の古校舎など払いさげによるもの。

岸本、面屋両議員 出納臨時検査立会人に

第十九回定例議会で可決された三十七議案のうち主なものについて簡単に説明すると

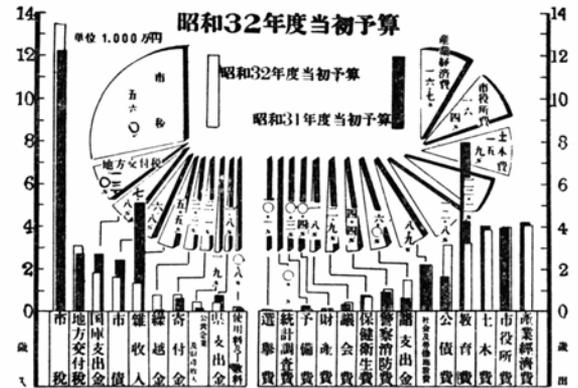
△議案第二号(以下議案を略) 昭和三十二年大野市一般会計歳入歳出予算上記説明のとおり

△第三号 昭和三十二年大野市特別会計国民健康保険歳入歳出、七地区分三千八百四十九千円を可決、旧大野地区二千九百七十九万九千八百円を可決。

△第四号 昭和三十二年大野市特別会計富田、五箇診療所歳

監査委員を交代 後任、兼井彦左衛門氏

三月二十五日の本会議中、議会の監査委員、西川文右衛門氏は市長あてに辞表を出したためこれを受理し二十六日の本会議において兼井彦左衛門氏を議会の同意を得て選任した。



△繰越金 七百八十五万円が昭和三十一年度からの繰越分。

入歳出予算、富田百九十八万八千円、五箇四十二万八千三百円を可決。

△第十二号 大野市手数料条例の一部改正について。

△第十三号 大野市都市計画条例制定について、都市計画を積極的に推進するために計画区域を定め、この区域内に所在する土地および家屋に対して新たに課税されることを可決。

△第十四号 大野市新市町村建設審議会条例制定について、建

設置審議会を設けて新たに五カ年計画がたてられることになった

△第十六号 大野市道路占用料徴収条例制定について、市の管理する道路を使用する場合はこの条例で定める額を四月一日から徴収することに可決。

△第二十号 大野市保育所保育料徴収条例の一部改正について 保育料は厚生省の基準に基いて保護者の所得状態と負担能力に応じて徴収することに改められた。

△第二十一号 大野市国民健康保険に関する条例の改正について。

△第二十二号 大野市国民健康

△第二十三号 大野市国民健康保険直営診療所に関する条例の改正について。

△第二十四号 特別会計一時借入金について。

△第二十五号 大野市電灯所建設実行委員会設置条例について。

△第二十六号 臨時検査立会議員互選の件、地方自治法第二百四十条、普通地方公共団体の出納は毎月例日を定めてこれを検査し、かつ毎会計年度少くとも

975万余円を 投資的に 経費に

本年度一般会計は二億四千九百九十七万一千八百円で前年度より二千七百四十六万九千九百九十九円の増、特別会計、国保では七千六百二十二万五千五百円で前年度より二千八百七十二万四千四百円の増となった。しかし一般会計では三十一年度予算の教育費中消費的経費のうち一般需用費をさらに節減し各種団体の補助金や寄附金などについても政府の方針どおり極力抑制して九百七十五万余円の消費的経費を投資的に振りむけた。なお本年度では有終中学および公民館の増築に都市計画の積極的な推進とまた市街地の防火水路の新

次に市長として多年の公約であった大野地区国保の再開と全市の国保の統一が実現することは一人の喜びばかりでなく全市民の日常生活から不安を取り除き、楽しく生業に就いていたことが全市に一段と明朗化をもたらし、市民あげての喜びになるものと確信している。

二回臨時検査をしなければならぬ。検査は監査委員がこれを行い、議会の議員の互選による二人が立会を必要とするものになっている。これにより岸本、面屋両議員が出納臨時検査立会人に選任された。

△第二十七号 字区域変更に対する同意について。

△第二十八号 大野市と北陸電力株式会社との契約について。

△第二十九号 昭和三十一年度

(一面よりつづく)

設、中小企業融資預託、商店街の店舗の新装費に融資を行うなどまた観光面にも力を入れた。農林業の振興については従来単作農業からさらに農林業の多角化に重点を置き新農林建設総合対策を強力に進めた。道路の改修についても本年はさらに個々の部落の道路改修に重点をおき、農林道や国の補助、起債などの特定財源を必要とする市営住宅や直営簡易水道、保育所施設、有終西校の新築などは財源の確定時期に追加計上をした。なお西校は継続事業として改築に当たりたい。

私たちの日常生活と気象とは深い関係がある。この気象が一カ月も先のことかわかれればなおさら便利だ。こんど福井測候所ならびに大野気象通報所の好意で今月から気象予報を連載することになったので参考としていただきたい。しかしこれは予報であるからこれを前提として刻々の変化を日々の天気予報で注意されたい

中旬暖く下旬に晩霜? 4月

今月の気象概況

「概況」 四月上旬までは時々冬型の気圧配置が現れるがその後大陸の高気圧が衰え急に春らしくなる。下旬には一時的に北東気流型の気圧配置が現れ中部日本では天気がくずれる。平均気温は変動があるが平年並降水量は普通かやや少く特に中旬は少い。また中旬には融雪による河川の増水が懸念される。

「天気」 ◇上旬 大陸の高気圧が北日本に張りだし本邦南岸沖では前線が停滞するためくすついた天気が続くもよう。旬末には移動性高気圧が東進して天気は快復に向う。
◇中旬 移動性高気圧がやや南偏して本邦上を通過し、南方洋上に停滞するものがある。このため各地とも晴天が多いが、日本海を北東進する低気圧が現われるため南風の強い天気がある
◇下旬 北日本に優勢な高気圧が現われ中西部日本は前線帯となりやすく、南岸沖を北東進する低気圧があり天気は変りやすい。「平均気温」 ◇上旬 平均で

はやや低くなるが旬末には上昇傾向となり急に暖くなる。
◇中旬 やや高く強い南風のため一時的にかなり高温がある。
◇下旬 やや低く特に中部日本では一時的にやや強い低温が現われ、このため晩霜のおそれがある。

「降水量」 上旬 平年並かやや少い見込み 中旬 少い。下旬 平年並

暖候予報

今暖候期の前半は多少の変動はあるが割合に順調と思われ、八月下旬以後は低温の懸念もあり天候は多少不順気味で変動が大きい見込み。

つゆは短く夏は不順か

△盛夏期 変動が大きい見込み 七月末から八月全般は気温も高くなり順調と思われるが八月下旬には低温が現れやすい。天気は不順気味となりそう。九月は平年並か多少天候が悪く、十月は再び低温の懸念があつて不順気味の天候が予想され、全般に秋は早く早冷の懸念がある。

自衛官募集始まる

十八歳から二十五歳までの男子で身心ともに健全な方は奮つて応募してください。受付は四月一日から六月十日まで。くわしいことは市役所総務課または各出張所で問ひあわせてください



緑化運動の期間が訪れてきた。街も村もみんな緑の羽根を胸に歩いている。しかしこれだけで緑化期間の目的がすむのではない。しっかりと心の中に「緑化」の二字を刻みつけ一人でも多く、一本でも多く植樹して山も村も街も緑にすることである

市では四月四日を亀山公園植樹五日を街路樹の植樹と決めさらに全市民にも緑化協力を求める

調理師試験 調理師試験資格認定講習 資格認定講習の受講希望者は受講希望願書を四月十五日までに勝山保健所または大野出張所へ。詳細は保健課までお問合せ下さい。

国保の受診証が変る 4月1日から

四月一日から国保の受診証が変るのでつきが御注意ください
△条例の改正で社会保険に入っている方の家族のうち被扶養者の取扱いをうけている者は除外されます。
△新しく交付された受診証に社会保険の被扶養者の氏名がのつていない場合は間違いですから、すぐ市役所へ受診証をだして訂正を受けてください。
△被扶養者をそのまゝ受診証にのせて置くと保険税を算出するときに間違いです。
△そのほか受診証にかいてある氏名、生年月日、続柄などに間違いがあるときはすぐに保健課または出張所で訂正をうけてください。

(二面よりつづく)
一般会計追加更正予算、追加額三百七十四万九千三百九十円でありこれで総額三億五千三百三十四万九千九百四十二円となつた
△第三十号 昭和三十一年度土地画整理事業歳入歳出予算五百八十五万二千円を可決。
△第三十一号 昭和三十一年度特別会計国民健康保険追加更正予算。
△第三十二号 昭和三十一年度

特別会計国民健康保険富田診療所追加更正予算。
△第三十三号 起債及び償還方法を定める件。
△第三十四号 起債及び償還方法を定める件。
△第三十五号 事業費繰越使用について。
△第三十六号 大野市監査委員の選任の同意について。
△第三十七号 大野市発電所建設実行委員選任の同意について



農事ノモ

「作物」△水稻 早期栽培が提唱され電熱温床もかなり増えると思われるが、坪当り四〜六合あまりは初期旬に播種することが必要。保温折衷なわしろも慣れるに従つて手を抜くことも考えられるがその場合、当然それに関連する技術が必要とするから必ず普及員に相談して指示を受ける。水なわしろも諸々の障害にそれぞれ対策を考へた上実施する。ユリミズ、ころび苗、わたくざれの常発地

森嶋開造、松田隆太郎、川崎港、神田一栄、石田政治、原健男、南正雄、岸本達也、大腹原政治、兼井彦左衛門、稲津忠右衛門、面屋重雄、四方憲二、高田新左衛門、新谷樵、帰山静、岡二男治、田中留男、千束末吉、松田彦一郎。
△第三十八号 大野市都市計画土地画整理事業施行区域決定について。
(欠号は略しました)

では水なわしろでない方が賢明である。肥料は当初計画を立てその設計に従つて実施する。一般に窒素質肥料の多用の害を加里肥料できよう正しようといつた考え方が反省を要するりん酸質肥料は概して少なすぎるようである。松木博士の二〇、六、二説は一般論であつて当地方のような火山灰の寒冷地にはあてはまらない。
「病虫害」 △キリウジ 保温折衷なわしろで紙をかけている中に被害がある地帯では、床造りの際「デルコ」を坪当二匁程度散布するとよい。苗が伸びてからはBHC3%がよい。
△ユリミズ 「デルコ」をよく泡立たせて坪二匁見当散布する。但し苗をいたためず土中のユリミズを殺す薬はないから、数日後もう一度散布してユリミズの活動を押さえ、その間に苗を生育させるのである。

大野気象通報所公開

4月28日午前10時〜午後4時 (気象観測新機展示)

◆ 気象映画を見る会

大野公民館にて 4月27日午後二時(貴重な気象関係記録映画上映)

人事を刷新

事務能率の向上と人事の刷新を図るため四月一日付で次のとおり大幅な人事の異動が行われた(カッコ内は旧任)

- ◇総務課長 松原勇(税務課長)
- ◇税務課長 清水精一郎(総務課長)
- ◇財政係長 松田孝信(農委農事係長)
- ◇市民税係長 安享(人事財政係長)
- ◇徴収係長 笠松常和(総務)
- ◇農事係長 松陰旭(厚生係長)
- ◇厚生係長 松田市治(市民税係長)
- ◇資格徴収係長 竹田泰藏(阪谷主任)
- ◇五箇出張所主任 山村清太郎(徴収係長)
- ◇阪谷出張所主任 森亮裕(五箇主任)
- ◇総務課 矢田初栄(小山)同

- 出村外志雄(上庄) 課 石藏一郎(富田診療所) 同
- 支覚慎吉(保健) 農務課 明 森雅寛(林務) 同村俊子(民生)
- 石善吉(建設) 同松田嘉三(総務) 同岩井秀子(富田) 同
- 務) 同松山ふみを(下庄) 同 設課 石塚一男(農務) 同藤堂
- 生課 佐々木静子(下庄) 同 保健 春枝(農務) 同林務課 桜田平

〔郷土いろはかるた〕

丁の里にのこる飯降の伝説



天から降るにぎり飯を一人占めにしようとして、友を谷につきおとしたため飯が降りなくなり、尼はよろよろと山を下りてふもとの里にやつかいになった。村を去るとき、お札にこの里を養老と名づけるようにと、もつていた丁杖で地面に字をかいてみせたが、里人は誤つて「丁」の字をあてたのだという。

不動堂の「大いちよう」

天然記念物に指定申請か



昔から神社や仏閣の境内にはよくいちようを植えたものである。「いちようはたすけの手をさしのべる」とか「いちようは仏心あり」また「いちようは消火の水を出す」などといつて昔から霊木の一つに数えられている。市内には九頭竜川をはさんで不動堂(川島、富田地区)と不動堂(阪谷地区)という部落がある。この名は仏教からでた語で、動く堂と動かぬ堂の意

味である。動く堂とは活動と変化を示し動かぬ堂というの永遠の存在を示している。この両部落の氏神境内に古くからいちようの大木がある。不動堂の方はいつ頃切られたのか、また枯れたものか、現在は跡方も残つていない。しかしその子か孫に当るような若木が氏神境内におい茂つている。不動堂の方は春日神社境内に雲をつくばかりにそそり立つて、これを調べて見るとその周囲は目通り七・四メートル、

高さ十五・四メートルで樹齡は七、八百年といわれている。この木からは乳房のような気根が空中にたくさんぶらさがつて、これを刻んで飲むと乳がでるといので郷土の人にあがめられ信仰されており、前述のことわざを確実に裏書きしているようである。



今月の行事

- 上旬 △市少年消防クラブ結成打合せ △富田地区大掃除 △文化財保護委員会 △新生活推進委員会 △社会教育委員会 △公民館長会議 △市体育協会総会
- 一七日 △緑化運動週間
- 二日(火) △農事研究協議会総会 大野公民館で
- 二三日 △土壌調査講習会(下庄地区)
- 八日(月) △春季消防総合訓練
- 中旬 △大野市社会福祉協議会総会 大野公民館で △大野市遺族会総会 △下庄、乾側、小山、上庄、阪谷地区大掃除
- 十三日(土) △防火協力会総会(無料映画上映) 亀山座で
- 二十日(土) △戸籍事務研究会
- 二十一日(土) △各派合同邦楽大演奏会 大野公民館で
- 下旬 △五箇地区大掃除 △きりの木栽培講習会
- 二十七日(土) △気象映画を見る会 大野公民館で



国民健康相談室

加入者の家族はどうなるか
A子 社会保険に加入している者の家族で被扶養者として取扱を受ける者と受けられない者がある場合、この取扱いはどうなりますか。

答 家族のうち、たとえば六十歳以上の尊族、十八歳未満の子など、被扶養者の取扱いは受けるものは国保にはいりなくてもよい。家族のうちこの被扶養者の取扱いは受けられない者が一人でもあればその者は国保にはいりなければなりません。
A子 この場合、社会保険の方でも多額の保険料をかけているが国保の保険料はいくらか軽くなりますか。
答 この場合、被扶養者の人数割と所得割とは減額されます。



大野から封建思想を取り除こう

新生大野市も四年になる。もう一人歩きもできて朗かな真の民主大野市でなければならぬのに、まだまだ暗い影が沢山残っている。その一、二の例をあげると、義ん金や公費を出しお

しみる。オヤツサンを宴会やそのほか座席につくときはどうぞどうぞと上席へおしあげ、また親の代りに女やむすこがきてもわざわざ席を空けてどうぞどうぞというような部落はまだ残っていないだろうか。私は先祖から伝わつた財産や物によつて人の価値判断をしたり、また人のかしらに当てるのはやめてもらいたいと思う。それより実際に社会に尽くした年長の人を尊敬したいと思う。つぎに大学を卒業したとか上級学校を出たからといって実社会に間に合うというのではない。最近、上級学校への進学希望の多いのも、ただ上級学校さえあればよいという頭でいるのではないだろうか。次にくる市長や市会議員の選挙にも真に信頼できる有能な人物を、そして真の民主主義をモットーとした政治を行うような人を選びたいと思う。なおこれを至市民に呼びかけ新生活運動の一つに加えたい(小山MY生)